

カトリック

広島教区報

No. 132

カトリック
広島司教区

発行責任者
広報担当
服部大介神父

「点訳版」あります。
お問い合わせください。

広島市中区鞆町 4-42
広島司教区内
TEL (082) 221-6017

司教メッセージ
叙階式
乙女峠まつり・教区100年史・司祭人事
地区便り・海峡からの風
青少年・ひと粒

153面
457面
859面
10511面
12面

自分の召命を見つめて 新たな歩みを始めましょう

広島教区 アレキシオ 白浜 満 司教

主のご復活の喜びを
申し上げます。

今もいつも生きておられ、ともに歩まれる主キリストを牧者として、日本の中国地方に広がる広島教区は間もなく、5月4日に、教区に昇格する前段階（使徒座代理区）に遡って創立100周年の日を迎えます。教区全体として、いくしき深い神様に、これまでの恵みの日々を感謝いたしましょう。そして、この創立百周年という記念の時に大切な節目として、新たな歩みを始めていきたいと思えます。

叙階の恵みとともに

このお祝いの時を前にして、神様は広島教区のために、3月5日には星野倫淳新助祭、3月21日には伊藤正広新司祭の誕生という、大きな喜びを与えてくださいました。お二人のこれま



星野新助祭と伊藤新司祭

主のご復活おめでとうございます

教区本部事務局

野中 泉 神父

(中央協議会・東京) 原田豊己 神父

(留学・韓国) 尹 兌榮 神父

(英語研修・フィリピン) 三宅仁孝 神父

平和の使徒推進本部 瀧井英昭 神父

広島司教館

深堀升治 神父

豊田尚臣 神父

斎藤眞仁 神父

(庶務・向原在任) 猪口大記 神父

(日本語研修) 朴 鍾錫 神父

広島地区

(地区長) 荻原代治 神父

山口島根地区

(地区長) 山口道晴 神父

岡山鳥取地区

(地区長) レイモンド 神父

広島中央協働体

(職町・向原) 藤町・向原・東広島・翠町・豊

(職町・向原在任) 荻原代治 神父

(職町・向原) 伊藤正広 神父

(東広島) トウアン 神父

(翠町) 福田誠二 神父

(呉) バート 神父

西広島協働体

(観音町・三篠・廿日市・祇園・可部) 観音町主任 瀧井英昭 神父

(三篠主任) 福田誠二 神父

(廿日市主任) アルベルト・ベツラ 神父

(祇園・可部主任) 李 相源 神父

備後協働体

(三原・尾道・福山・三次) フレデリック 神父

(福山・尾道主任) 金 起煥 神父

(福山・尾道協力) 西江和司 神父

(三次主任) アルナルド 神父

山口協働体(山口・地福・防府・萩)

(山口・地福主任) アルフレド 神父

(山口) カンガス 神父

(山口) 外川直見 神父

(防府) ヴィタリ 神父

(防府) デイン 神父

(萩) アレックス 神父

下関協働体(細江・彦島・長府)

(細江・彦島主任) 作道崇三 神父

(細江) トアン 神父

(長府) 百瀬文晃 神父

下関労働教育センター

(所長) 中井 淳 神父

(協力) 林 尚志 神父

宇部・小野田協働体

(主任) 片柳弘史 神父

(協力) アルテリオ 神父

岩徳協働体(岩国・光・柳井・徳山・下松)

(岩国主任) 柳井協力 久保裕己 神父

(光・柳井主任) 肥塚修司 神父

伯耆協働体(松江・出雲・米子・境港)

(松江主任) 野中 泉 神父

(出雲主任) 金 洪錫 神父

(米子・境港主任) ダン 神父

石見協働体(津和野・益田・浜田)

(津和野主任) 山根敏身 神父

(益田・浜田主任) 太西勇史 神父

岡山協働体(岡山・ロザリオ・岡山南・玉野・津山)

(岡山主任) 服部大介 神父

(岡山) パヴァン 神父

(日本語研修) 全 惠黙 神父

(岡山南主任) ロイ 神父

(ベトナム司教・岡山南在任) テュ 神父

(玉野主任) 沈 相淵 神父

(津山主任) ジョン 神父

倉敷協働体(笠岡・倉敷・玉島・水島)

(笠岡主任) ブルニ 神父

(倉敷・玉島・水島主任) レイモンド 神父

鳥取協働体(鳥取・倉吉)

(鳥取主任) 朴 根培 神父

(倉吉主任) 野寄一夫 神父

イエスス会 庚午修道院

ブルハスタント 神父

ヴェーマイヤー 神父

イエスス会 長束修道院

高山 親 神父

塩谷憲策 神父

裏辻洋二 神父

清水 弘 神父

愛徳修道士会

ヘンデリクス 修道士
牧田真一 修道士

広島教区長 白浜 満 司教
司教総代理 荻喜代治 神父

での召命のために祈り、支えてくださったすべての恩人の皆さんに、心より感謝申し上げます。そして将来の広島教区のために、このお二人に続く新たな司祭召命の恵みを引き続きお祈りくださいますようお願いいたします。

「わたし」と「わたしたち」の召命

教区の宣教司牧目標である「チャレンジ・新しい福音宣教」2023年度のサブテーマは、「わたしの召命とあかし」です。わたしたち一人ひとりが、それぞれ自分の召命を見つめていくことができるよう、このたび「平和の使徒推進本部」編纂による「わたしの召命を考えるために」という冊子が発行されました。一人でも多くの人がこの冊子を手引きとして、まず各自で、そして、できれば数名の教会の方々とのかち合いなどを通して、教会共同体としての召命を考えていただけると幸いです。わたしたち一人ひとりを



2月末、教区内に配布された、冊子「わたしの召命を考えるために」

いのちの舞台に召し出してください。くださった神様は、そのいのちが成長していくことを望み、一人ひとりのいのちが開花するよう導かれます。わたしたちのいのちが開花するために、神様が導かれていく生き方を、「召命」と言うことができます。ではないかと思えます。そして、この召命は、わたしたちのそれぞれの「使命」へと繋がっていくのです。わたしたちが、他の人々のために自分のいのちを使い、そこに自分の喜びが見い出せる生き方をするとき、それはまさに「天命」と言えるようになります。イエスは教えています。

「わたしのために命を失う者は、それを救うのである」(ルカ9・24b)。社会の中で働かれ、また教会に奉仕される信者の皆さんが、「天命」に近づいていくため、それぞれの「召命」を見つめて今自分のできることを真心から果たしていけますように。個人的な次元だけではなく、教会や社会という共同体の次元においても、「召命」と「使命」ということが言えます。一人でも多くの人々がいのちの与え主である神様を信じて、神様との親しい絆の中で生きていくように奉仕する「使命」が教会にはあります。

信徒手帳

わたしたちがそれぞれキリストの弟子である信徒としての「召命」をよりよく生き、教区創立百周年をきっかけに新たな歩みを始めていくことができるよう、「信徒手帳」が発行されます。まもなく一部ずつ、皆さんのお手元に届くと思います。これは、信徒としての基本的な心構えと若干の祈りを掲載したものです。教区としては初めての試みで、不十分さが否めないと思いますが、今後の積み重ねの中で、よりよい手帳にしていければと願っています。

広島教区ではこれまで、「種々の祈り」という四つ折りのピンクのパンフレットに、若干の教区固有の祈りを掲載して使用してきました。この中で、「『平和の使徒』となるための祈り」は、「2020教区代表者会議」(教区シノドス)で話し合われたことを反映して少し修正が加えられています。また、「教区

創立百周年に向かって歩む祈り」は、教区シノドスで話し合われた2024年度以降の教区の宣教司牧目標のために「『ともに歩むあたたかさのある教会』を願う祈り」へと変更になります。「信徒手帳」の中には、その他にも、教区固有の祈りが追加されています。わたしたちが、それぞれの召命を考え、「天命」に近い生き方に到達できるよう、これらの祈りを唱えて、神様からの霊的な力をいただきましょう。

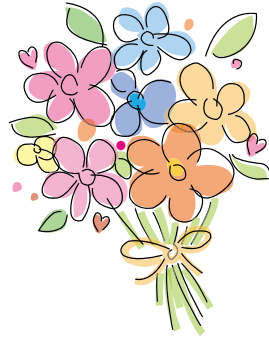
世界シノドス

最後に、世界の教会が、**「ともに歩む教会のために」**交わり、参加、そして**「宣教」というテーマのもとに、世界代表者会議(世界シノドス)**の歩みの中にあることを心にとめたいと思います。今年10月にバチカンで開催される世界シノドスに、その準備段階で参加する機会をいただいたわたしたちが、①それぞれの召命を見つめて、神様がご希望になる使命を、よりよ

く果たしていけますように。
 ②そして、世界シノドスが目
 指している教会の頭(牧者)
 であるキリストを中心に、聖
 霊に導かれて、信徒・修道
 者・聖職者(助祭・司祭・司
 教)があたたかい共同体をつ
 くり、人々に神様の存在と愛
 をあかしすることができま
 すように。「一輪の花」を見つ
 める時に、そこには確かに神
 様が与えてくださった固有の
 美を十分に感じることができ
 ます。そして、違った花々が
 一つの束として集められる時
 に、一輪一輪の美しさが保た
 れたまま、さらに「花束」と
 しての輝きが増すのです。一
 人ひとりの召命という花が、
 閉鎖的で独善的なものから解
 放されて、種類が違う他の花
 と一つの束となる時、一輪
 一輪の固有な美が埋没してし
 まうのではなく、むしろ互い
 に引き立て合う相乗効果のよ
 うなものを感じます。信徒・
 修道者・聖職者(助祭・司
 祭・司教)が「ともに歩む」
 とは、このような「花束とな
 る霊性」を生きることに喩え
 ることができるのではないか
 と思います。

教区創立100周年までの

歩みを振り返り、教皇フラ
 シンスコが強調する「とも
 に歩む」生き方の中に、
 「わたしの召命とあかし」
 を見つめ、「花束となる霊
 性」生きていくことができ
 れば幸いです。



書籍紹介

『津和野乙女峠
 37人の「証し人」』

筒井砂著 片岡瑠美子 監修
 出版社 女子パウロ会
 定価 900円+税

1873年の2月24
 日、明治政府は太政官
 布告第68号により、江
 戸時代初期から続いて
 きたキリシタン禁制の
 高札の撤去を命じまし
 た。その後、浦上四番
 崩れで、江戸末期から
 明治初期に、西日本の
 二十藩(二十二箇所)

世界平和記念聖堂の
 新しい小冊子が完成

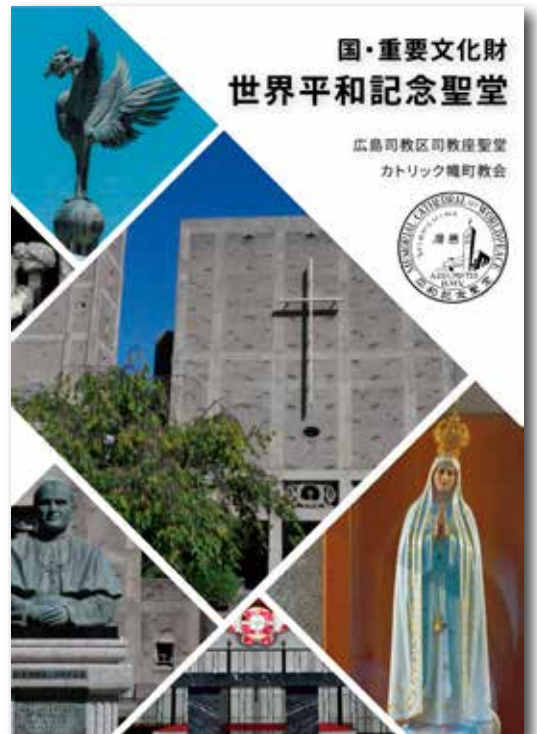
飯國 清 (幟町教会)

この度、私たち幟町教会
 聖堂案内係は、教会宣教司
 牧評議会から依頼を受け、
 世界平和記念聖堂を紹介す
 るしおりを作成しました。
 デザインやレイアウトは宣
 教企画部の室崎さんのお力
 添えをいただきました。
 メンバー皆で心を合わせ
 て、時には悩み考え、時に
 は新たな発見に喜び感動し

に流配されていた浦上
 キリシタンの帰郷が実
 現しました。2023
 年でちょうど150年
 になります。日本の社
 会に信教の自由をもた
 らず隠れた力となった浦上
 キリシタン流配の出来事を
 知っていたため、現
 在、広島教区が列聖調査を
 進めている津和野の証し人
 について分かりやすく紹介
 する『津和野乙女峠の37
 人の「証し人」』という
 本が、女子パウロ会から
 出版されました。広島教

国・重要文化財
 世界平和記念聖堂

広島司教区司教座聖堂
 カトリック幟町教会



ながらの編集作業でした。
 聖霊の導きに強められ、信
 仰の大きな恵みをいただき
 ました。しおりの完成にあ

たり、聖堂に集う全ての
 人々の心が主の平和で満た
 されるよう、感謝のうちに
 お祈りします。

区創立100周年を祝う
 2023年5月3日の乙
 女峠まつりに合わせて、
 執筆してくださった筒井
 砂氏、監修してくださっ
 た片岡瑠美子シスター
 (純心聖母会)、出版の
 労を引き受け

この本を購読してい
 ただき、津和野乙女
 峠の37人のあかしを
 深く知り、その列聖
 調査のためにお祈り
 していただければ幸
 いです。

てくださった女子パウロ会
 の出版編集部
 の皆様に、心
 から感謝した
 いと思いま
 す。広島教区
 の皆様には、



叙階式

パドアのアントニオ 星野 倫淳 新助祭

ヨゼフ 伊藤 正広 新司祭

3月5日(日)にカトリック廿日市教会で星野倫淳^{ともひろ}神学生の助祭叙階式が、3月21日(火・祝)に世界平和記念聖堂(カトリック幟町教会)で伊藤正広助祭の司祭叙階式がそれぞれ行われた。司式はどちらも白浜満司教、式の様子はYouTubeに配信された。



↑床に伏す伊藤新司祭



←白浜司教から授けを受ける伊藤新司祭

司祭叙階式

この度は、多くの方々に支えられ、司祭叙階の日を迎えることができました。改めて出会ったすべての方々に感謝申し上げます。教会に、自分が求めている人生の答えがある。そう信じて今日まで歩んできました。その思いは、全く変わっていません。神学院での学びで培った確信は、私たち人間の救いようの無さ、そして、そんな私たちが、それでも愛してくれて

いる神がいる、という事です。「人間は神によってつくられた。人間は神との交わりに招かれている。人間は恩知らずだから、すぐに感謝を忘れ、不平不満ばかり言って、神の愛から離れてしまふ。神は、御子イエスを犠牲にしてまで、私たち人間との愛の関係を取り戻そうとした。」

「司祭になることはそんなに難しくないけど、司祭であることはとても難しいよ。」
私が神学院に入

神に感謝!

伊藤 正広 新司祭



伊藤新司祭

ように動いています。しかし、神に心を向ける事をやめたとき、人間がただの物のように扱われる世界が訪れます。あらゆる社会の問題の解決も、根底を探ると、結局個人、そして共同体全体の「回心」に行き着きます。心の中の事は、他人には気づかれなけれど、決しておろそかにできないのです。



学する前の年に帰天された、三末名誓司教様がおっしゃっていた言葉を思い出します。これから、いただいた司祭職の役割を誠実に果たしていくとともに、やや俗な言い方ですが、教会

で味わう、あの聖なる感覚、感動を多くの方々と共有していきたいです。一緒に喜びをもって歩んで参りましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

キリストの眼差しを伝える人

東京カトリック神学院
稲川 圭三 神父

伊藤正広新司祭、司祭叙階おめでとございます。

伊藤さんとは二〇一九年春から丸四年間、東京カトリック神学院で一緒に過ごさせていただきました。

伊藤さんは基本的に人にお仕えしようという心を持っていてる方です。最初にお会いした頃は、もっと良くお仕えする者になるために、まだまだ自分には足りない所があり、まだまだ身につけなくてはならないスキルがある、というところに中心があったかもしれせん。

しかし、学年が進むに連れて変化して行かれました。「重心」がお仕えする自分から「お仕えするべき方々」の方に移って行ったように見受けられました。そしてそれが目に見えてはつきりとした違いとして表れてきたのが助祭叙階後のことです。人間のいのちが死によって決して終わらないことを、はつきりと話し始められたと思います。死んでも終わらないのちとして生きることに、本当の自由があることを、素朴な語り口で語ってくれるようになってきました。これは人



司祭叙階式の様子

のこともあり、自分のことでもあり、神のこと、キリストのことでもありません。司祭となった今、日々のミサを通して人間が皆神の子であることを伝え、キリストの眼差しを伝える人となってください。一緒に働きましょう。

司祭叙階 おめでとございます

● 聖パウロ女子修道会
シスター村上道子

聖パウロ書院に来られたとき、いつも伊藤神父様は黙って本棚のほうを向き、あまり話されませんでしたので「どこかの神学生では？」とずっと思っていました。しかし、この書院がイエス様との出会いのきっかけになっていたと知り、神様のなさり方の不思議に感じ入りました。

今私たちの住む世界は、戦禍に惑い、大災害によるおびただしい数の犠牲者、自国を脱出する避難者の群れといった大きな問題をかかえています。「地球上に常に新たになっていく人類はどこを歩き、どのよう歩き、どこに向かって歩いていくのか？」これは



聖パウロ女子修道会のシスターと伊藤新司祭

前世紀を生き抜いた私たちの創立者の言葉です。神様はこの人々のもとに、苦しみと喜びとともにきょう、一人の司祭を遣わされました。伊藤神父様の出発にあたり、かつて母が私にくれた言葉を贈りたいと思います。「四方八方さがりになっても、天だけは開いているからね」。加えて「聖母マリアが跪いて神の御子を受け取られたように、生涯、跪いてこの聖なる司祭職を受け止め、全うすることができましよう」と。皆様と心一つにしてお祈りしています。感謝と喜びを共に！



司祭叙階

おめでとーいございます

翠町教会

吉川弘之



翠町教会信徒会長 吉川さんと伊藤新司祭

うことで、信徒の皆さんも喜び合い、一日も早い司祭叙階を願って、祈りとともにいろいろなと支援をしてきました。そして、今日の日を迎えることができ、信徒一同から喜びを共にしております。

私自身は、代父として自分の息子が神父になったような思いが胸に湧き、ひと一倍嬉しく大きな喜びに感激しております。

これからは、司祭として、教区のため又多くの信徒のために十分な働きをし、そして皆さんから信頼される神父になって下さい。どうぞ健康には十分留意され、ご活躍されることを信徒一同で祈念しております。

また、近い将来には翠町教会の主任司祭としてお迎えられる日を信徒一同心よりお待ちしております。

翠町教会で洗礼を受けられて十年になります。当時、翠町教会におられた三末司教さまから「あなたが伊藤さんの代父になりなさい」と言われ、洗礼式に立ち会いました。翠町教会からトウアン神父さまに続いて二人目の神父の誕生とい



左から白浜司教、星野新助祭、星野新助祭のお母さま

神に感謝、皆様に感謝

星野 倫淳 助祭

3月5日に助祭叙階のお恵みをいただきました。白浜司教様をはじめ多くの神父様方、信徒の皆様にあつくあつく感謝いたします。

このようなお恵みをいただいたのも、皆様のお祈りとご指導と支えによるもの、また世のもつともつまらない者をご自分の栄光を現すために用いられる神の御計らいによるものと、私は感じております。

ですが大きな喜びのうちにも、私には心苦しく思っていることがひとつあります。

す。それはコロナ感染防止のためと会場の大きさのための厳しい人数制限のため、叙階式参列を望んでくださった、お世話になった多くの信徒の皆様にご遠慮いただかなければならなかったことです。本当に申し訳ありませんでした。叙階式の間中、その場にいはい皆様のことをずっと思っておりました。そして皆様のお想いとお祈りは確かに届いたと私は感じております。本当にありがとうございます。



廿日市教会主任の金楯洙神父と星野新助祭

これから私にとって司祭叙階にむけての特別な準備の期間が始まります。神の恵みに対して、いいえ、むしろ大きな義務と責任に対して私ができるよう、これからも皆様にお祈りを願っています。また、広島教区の召命のためにも引き続きお祈りをお願いいたします。





叙階式に参列した翠町教会の信徒



←1998年以降に叙階された、10人の司祭
 左から、大西神父、ミカエル金神父、ロイ神父、
 三宅神父、伊藤神父、猪口神父、トゥアン神父、
 朴神父、久保神父、尹神父（韓国留学中）

教区本部事務局より

2011年11月の事。9月に司教叙階された後、毎週金曜日は教区本部職員と一緒に昼食をとることにされていた前田万葉司教様（当時）が「これから10人の司祭誕生を目指す」と言われ、部屋が静まり返りました。1997年を最後に長年司祭叙階がなかった



広島教区にとって、夢のまた夢の話。微妙な雰囲気の中で私は、10人の司祭誕生までに必要な経費を弾いて「経済的に無理かな。いや、まずそんなこと起きないか。いや、でも…」を繰り返していたことを今でも覚えています。

2013年1月の教区報で「教区創立100周年までの10年で10人の司祭誕生を」と公表されて以降、その言葉に引き寄せられるように一人また一人と神学生が増えていきました。嬉しさ反面、神学院からの請求書を見ては悲鳴を上げたり、思わず座り込んだり。請求額が間違っていないか確認したほうがいいのでは、と悩んだ年も…。先人たちが召命を願って貯めてくださったいた貯金を取り崩しながらの日々を重ね、あれから10年。本当に10人の司祭が誕生するとは！ひとえにお祈りと献金で、神学生の歩みを支えてくだ

さった皆さまのご支援の賜物です。

言葉に宿る力の強さを感じた今、次の10年に向けて「各小教区から一人の司祭誕生を」といわれても、ひっくり返る事のないように心構えをしておきたいと思えます。声を大にしては言い難いご時世になりましたが、引き続き「お祈りと献金」によって召命の道のりを支えてくださいますようお願いいたします。

（法人会計 大本聖美）

ゆうちょ銀行振替口座
 カトリック広島司教区 一粒会
 口座：01310-1-69319



津和野 「乙女峠まつり」 4年ぶりに開催予定



津和野教会では、長らく新型コロナウイルスの影響で中止されていた「乙女峠まつり」が、今年5月3日、例年通りで執り行われることを決定いたしました。

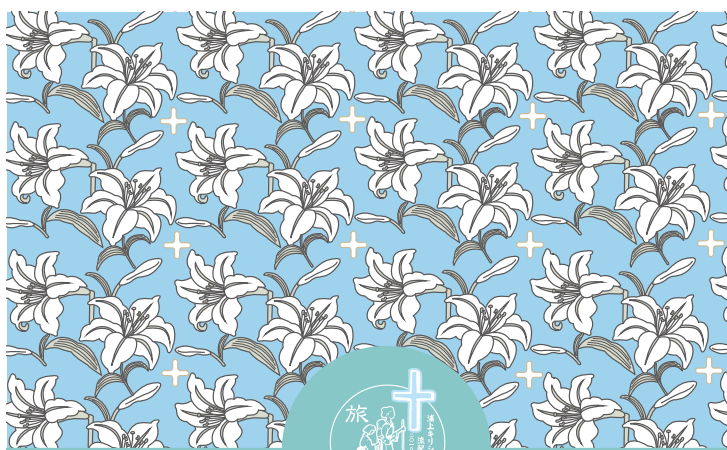
「乙女峠まつり」は、2020年からの3年間は非公開（津和野教会の信徒のみ）で行われておりましたが、72回目にあたる今年

は、例年通り聖母行列から始まり、大阪大司教区・前田万葉枢機卿様の司式により、津和野・乙女峠の証し人の遺徳を偲ぶミサを捧げることになりました。今年の5月4日は広島教区創立百周年記念の日でもあり、その意向をもったミサの奉獻でもあります。

また、5月2日の前夜祭では「明治政府はなぜ禁教

令を撤去したか」との演題で津和野のリーダーであった高木仙右衛門の曾孫にあたるシスター高木慶子様（援助修道会）の講話が予定されています。

乙女峠でのミサは広島司教区の公式ホームページにおいて動画配信される予定です。



津和野 乙女峠まつり

— 教区創立100周年記念 —

前夜祭 5月2日(火)	2023年 5月3日(水)
時間 19:00 ~	10:15 聖母行列 (津和野教会~乙女峠)
講演 高木慶子シスター (援助修道会)	12:00 野外ミサ (乙女峠)
場所 幼花園ホール (津和野カトリック教会隣り)	司式: 前田万葉枢機卿 (大阪教区長)

・宿泊などについては、津和野町観光協会へお問合せください。
〔津和野町観光協会 TEL: 0856-72-1771〕

・雨天決行

広島司教区 津和野カトリック教会

〒699-5605 島根県鹿足郡津和野町後田口 66-7
TEL: 0856-72-0251 / FAX: 0856-72-0282
HP: <http://www.sun-net.jp/~otome/>

2023年 司祭・修道者のプラチナ祝・ダイヤモンド祝・金祝

◆プラチナ祝70周年◆

《援助修道会》

Sr.満居 安子 1953年9月8日 初誓願

◆ダイヤモンド祝60周年◆

《援助マリア修道会》 福山修道院

Sr.藤岡 諒子 1963年9月29日 入会

《援助マリア修道会》 長府修道院

Sr.永嶋 行子 1963年9月29日 入会

Sr.上田 ニシエ 1963年9月29日 入会

《援助修道会》

Sr.米谷 知榮 1963年2月2日 初誓願

Sr.阿部 光子 1963年9月12日 初誓願

《ナミュール・ノートルダム修道女会》 東広島修道院

Sr.岩田 信子 1963年3月19日 初誓願

◆金祝50周年◆

《イエズス会》 山口教会

Fr.外川 直見 1973年3月24日 叙階

《イエズス会》 下関協働体(細江教会)

Fr.作道 宗三 1973年3月24日 叙階

《広島教区》 倉吉教会

Fr.野寄 一夫 1973年11月23日 叙階

《広島教区》 広島司教館

Fr.齋藤 眞仁 1973年11月23日 叙階

《愛徳修道士会》 鳥取修道院

Br.ルド・ヘンデリクス 1973年8月15日 修道誓願

《ナミュール・ノートルダム修道女会》 クビリー修道院

Sr.高木 孝子 1973年6月23日 初誓願

広島教区百年の

歩みをたどる (五)

今は見られなくなった各地の教会に目を向けてみたい。

(1)山野教会 1886年(明治19年)

福山市の北東端、岡山県境の地区です。前年に50人受洗したので、仮聖堂を建てて三宅伝道士が伝道に従事した。広島県だが、当初は岡山教会に属した。当時岡山教会は広島県東部まで受け持っていた。

資料：スクールズ・教区前史

(2)北川教会 1934年(昭和9年)

旧小田郡北川村で、笠岡市の北端の地区です。この年創立の倉敷教会の巡回として出来た。普通の民家を購入し、教会として使用した。当時信徒62名。18年後に笠岡教会創立、笠岡の巡回に。58年経ち建物老朽化で取り壊され幕を閉じる。その後も老人等のため、神父が訪問された。

資料：笠岡教会50年史

(3)因島教会 1945年(昭和20年)

尾道の沖、瀬戸内の二つ目の島の教会。戦後子供の教育どころでなく、島の少年達の悪さが目立ち、子供たちの教育の為、島の椎山氏が宗教教育を始めたのが教会の始

まり。

進駐軍払い下げの蒲鉾兵舎を教会とした。少年から青年に育ち、社会奉仕活動が行われた。16年後教会は閉鎖されたが、その後も神父が交代で因島に司牧に向いた。

資料：尾道教会50年史

(4)高屋教会 1969年(昭和44年)

井原市の繊維会社タカヤ株式会社内に出来た。以下誕生の経緯。当時浜田市の子供会社に多くの女性信徒が勤務。女性向き仕事を希望。倉敷の繊維会社を希望していたが、タカヤ社長の義理の妹が熱心な信徒と言うことでタカヤに集団で移り、浜田から祭壇も運んで高屋教会の誕生となった。笠岡教会の巡回教会として誕生。15年間続いた。

資料：笠岡教会50年史

(教区百年史編纂委)



因島教会／毎日新聞記事

聖書通読写経キャンペーン 完了者紹介 (敬称略)

◆聖書通読を完了された方◆

- No.015 小方 サナエ (3回目)
廿日市教会
- No.016 中村 英雄
岡山教会

◆新約聖書写経を完了された方◆

- No.033 小方 サナエ
廿日市教会
- No.034 伊藤 恵美
下松教会

◆旧約聖書写経を完了された方◆

- (聖書全巻完了)
- No.017 伊藤 恵美
下松教会

広島教区

司祭人事異動

(新任地↑前任地)

*異動時期はいずれも復活祭明けから

《淳心会》

ジャルト・アルベルト神父

ブラジル(ポルトガル研修)
↑岡山助任

《教区》

西江和司 神父

福山・尾道協力↑療養

猪口大記 神父

司教館庶務↑福山・尾道主任

金 起煥 神父

福山・尾道主任↑岩国主任

福田誠二 神父

三篠・翠町主任↑三篠主任

朴 根培 神父

鳥取主任↑尾道・福山助任

久保裕己 神父

岩国主任・柳井(巡)
↑祇園助任

三宅仁孝 神父

フィリピン↑職町助任

伊藤正広 神父(新司祭)

職町助任

《金山教区》

金 楹洙 神父

金山教区↑廿日市主任

朴 鍾錫 神父

司教館在住(日本語研修)

↑岡山在住・日本語研修

全 東黙 神父

岡山(日本語研修)

↑金山教区

地区便り

山口島根地区

*2022年度「平和アピール1981」報告

山口島根カトリック正義と平和協議会は、2月18日に宇部教会において、3年ぶりに「平和アピール1981」の行事を開催した。教皇聖ヨハネパウロ二世の「広島平和アピール」朗読の後、「アルペなんみんセンター」の漆原比呂志さんをZOOMでお招きし、講話をしていただいた。漆原さんの洒脱であたたかいお話ぶりに励まされて、午後の分科会では各小教区の地域で抱える社会問題について、熱心な意見交



ZOOMでの漆原さんの講話

換がなされた。新型コロナが終息しそうな時期で行事が集ったこともあり、参加者が三六人と、例年の半数であったのは残念ではあったが、派遣のミサで祝福されて、明日からの元気をいただいた一日となった。

岡山鳥取地区

*教区チャレンジ「平和」に向けて

2つの集会報告(平和推進チーム)



岡山教会

2月5日

「ウクライナ戦争」報告をポーランドで支援されている兵頭博・吉田祐美・避難者カタリナ・ホツリヤク3氏により現地から、11日には講演「世界

の現状における非暴力の可能性」を守田敏也氏から、会場とZOOMで行いました。一人当たりの国内総生産が日本より約271万円低い貧困国ポーランドは難民250万人を受け容れ、長期になって支援不能状態へ陥っています。現在は取り残されてきた障害を持つ方々の支援へ移っています。虐殺現場を見た子ども達の心の傷は深く、聴いている私たちの胸も張り裂けんばかりでした。心尽くしに供与したマグドナルドを口にしたときの子どものはち切れんばかりの笑顔を見ていた支援者は陰で泣いたとの事。私たちには何ができるか。犠牲者に寄り添い、

67 海峡からの風

下関労働教育センターだより

この10数年、国際協力の分野で県内外の大学生と様々な協働を行って来たが、昨年来、フードバンク山口、食品ロス削減の分野で大学生との関わりが急増した。それ以前も単発でお手伝いをお願いしたり、ロクスひよりやまのこども食堂に大学生ボランティアサークルと繋いだりはして来たが、一昨年の後半から一人の下関市立大学の学生がフードバンク山口のボランティアとしてタイトに

目指すシステム案を競う取り組みで昨年のテーマが「食品ロス削減」であったため審査員を務めつつ、様々な情報提供や協働を行って来た。その一つのグループが実際にフードバンクやこども食堂関連のボランティアをしてくれた。

関わってくれる様になり(その矢先に突然留学が決まったが)、また梅光学院大学学生生協の「またたび」のプログラムで約半年一つの班が食品ロスを活動のテーマの一つに選んでく

さらに新年度には梅光学院大学のサービスマスターズとしてマッチングすれば学生を担当する機会を設けていただいた。

れ、子育て家庭支援食品配布のボランティアやJ2のレノファ山口の試合会場前でのフードドライブを実施してくれ、大学祭ではフードロス削減を啓蒙する様なメニュー作りを実践してくれた。ほぼ同時期に下関市主催のデジコン、IT技術を使って社会課題の解決を

食品ロスは社会課題として注目されて来ているが、「成人」とは言え多くは保護者の庇護下にいる大学生にとって食品ロスの問題を「自分事」として捉えることは中々難しく、コロナ禍で他者との関わりに距離を置いて来たため、一層困難かもしれない。

そんな大学生と接するにあたり、多くの仲間を巻き込みながら、他を「思いやる」心を育む一助になればと、そう、13回目の3・11を迎え改めて思う。

(大城 研司)

できる限りの手助け。一体感の祈り。そしてこの様な事態が現実を起こらないよう日々、足元で非武装による平和行動を積極的に行うこと。「ひとしく恐怖と欠乏から免れ平和のうちに生存する権利」(憲法前文)を全世界の人々に約束し、9条の平和条項を誓った国民一人ひとりは希有な天命を預かっています。この基軸が今危くなっています。

広島地区

*待ちわびた子どもミサ

1月29日(日)に祇園教会で白浜司教司式による「子どもミサ」が行われ、広島地区小教区の子供たち(大人を含む総勢104名)が集まりました。

ミサの前に「世界子ども助け合いの日」をテーマにワークショップを行い、世界の友達に届ける祈りの



世界の友達に届ける祈りのカード

カードを作り奉納しました。

コロナ禍でなかなか会えなかった他教会の子ども達と久しぶりに会うことができ、ミサでは子ども達が主体となり聖書朗読や侍者を担当し、心を込めて祈り、歌う姿がありました。

神様の愛の下、子ども達が3年ぶりに楽しく喜び集えたことに感謝です。

*アルペ神父列福祈願ミサの報告

アルペ神父様(元イエズス会総長)が帰天されて32周年を迎え今年2023年2月4日(土)午後1時より広島長束黙想の家においてイエズス会神父様4名の共同司式により、約30名の皆様と共に「アルペ神父様の列福祈願ミサ」が開催されました。昨年、一昨年はコロナの影響で中止となっていた居りましたが、今年、広島祇園教会の信者を中心に列福祈願ミサだけがあり、ミサ後の偲ぶ会・懇親会は見送りとなりました。アルペ神父様の日本と世界での貢献に感謝し、遺徳を偲んで皆様と共に列福・



アルペ神父様の列福祈願ミサの様子

列聖をお祈り続けたいと思います。(広島アルペ会)

*浦上四番崩れ流配地 福山市内巡礼

2月5日(日)天候にも恵まれ東広島教会からの参加者の方をお迎えし、12時半に福山教会を出発、約5キロを総勢9名で3年ぶりに歩き、福山駅近くで解散しました。7名は初めてということで、立ち寄り場所の大体の目安を書いた地図をお渡しして歩きました。福山には信徒発見の時にプチジャン神父に「われらのムネあなたのムネとオナジ」と告白して「サンタマリアのご像はどこ？」と尋ねたイサベルナ杉本ゆりさんが来られたこと

もあって、「旅する教会の神秘―「旅」の始まり150周年記念(1868(2018))」の長崎教区作成のロザリオを道中唱え、信徒発見の聖母の取り次ぎを願いながら巡礼をしました。

また、1941年に初めてイエズス会の神父様が来られ借家して福山教会を再開した場所にも、2回目参加者の方の提案で追加で行ってみようと言うことになり、それに加え1895年パリ外国宣教会の神父様が福山に初めて教会を設立された場所も併せて訪れました。いずれも戦災で焼けて面影も痕跡もなかったのは、信徒たちが流配されていた場所と同じでした。

徒歩巡礼のルートは、福山教会を出発し新町脇元置役所跡、深津村坐床跡、笠岡町續元船入場跡、福山教会跡、福山天主公会跡、東堀端元割所跡。

流配所巡りをしたい方は、福山教会までご連絡ください。(浦上キリシタン福山流配研究会 富田)

*キリシタンの血は一粒の種子である

2月11日、「キリシタン殉教之碑」(己斐東)での祈りと観音町教会で江戸時代広島島の切支丹殉教者を祈念するミサがたてられた。

フランシスコ遠山甚太郎(24歳) 斬首、マチアス庄原市左衛門(34歳) 磔、慈悲役ヨアキム九郎右衛門(65歳) 磔、1624年春浅き日々々に相次いで殉教した。

そして3人の福者の列聖に向けて、来年殉教400周年、「キリシタン殉教之碑」建立40周年の節目の年を迎える。

(観音町教会 林隆一郎)



「キリシタン殉教之碑」での祈りに参加された皆様

青少年の活動

みんなは知らない
神様の下心

青年活動企画室が開始し、もうすぐ二年。教区創立100周年やWYD関連、高校生の活動においては中ブロなど、いくつかの

企画が動いていますが、そのひとつ、月一開催の「福音ひろば」は、ゆるりとした集いながらも、毎月小さな盛り上がりを見せています。

教区代表者会議を受けてはじまった、世代別オンラインサロン。18歳〜20代のひろばでは、特にテーマを決めるということはず、

ざつくばらんなお喋りの時間を過ごしています。「好きな音楽は？」
「今日なに食べるの？」
話題は、正直他でもできる雑談です。コロナの状況もピークは過ぎ、わざわざオンラインで繋がずとも、近くにいる友達と会ってお喋りすればいい。それでも、月一みんながここに集

まるのは、単純に、「ここに来る、あの人の顔が見たい」という気持ちからでしょう。
そんな青年たちの下心を逆手に取り、ちゃっかり、教会と繋いでいる神様がいるなあと、ゾワゾワします。



主のご復活

おめでとーございます

玉野教会 沈 相潤 神父

「皆さん、主のご復活、おめでとーございます」という言葉は私が洗礼を受けた子どもの頃から今まで年ごとに聞いてきたお祝いの挨拶です。ところが子どもだった私にとって「なぜ復活された方はイエス様なのにそれが私の喜びとなるのか」ということが気になりました。このような自分自身からの疑問につい

である神父様が「イエス様が示されたように私たちがご復活に与ればもう死ななくなり永遠の命を得られる」と教えてくださいました。残念ながら子どもだった私にとってそのお話は「復活すれば一刻も休むことが出来ず永遠に勉強を続けなければならなくなる」という意味として理解されました。それにその時太っていた自分自身は「この体のまま永遠に生きていかな

思ったことがあります。精神的にも肉体的にも私の得になるのは一つも無いと思っただけです。私が思ったように復活というのが今の苦しみが続くのなら、シワばかりの肉体を持つて生きなければならぬのなら復活したくないと思う方が多いでしょう。しかしイエス様は復活した人の霊的なことについて「死者の中から復活するのにふさわしいとされた人々は、天使に等しい者であり」と教えられました。つまり復活すると私たちは天使のような存在になるのです。それに加えて復活されたイエス様に初めて会ったマグダラのマリ

オに向かつて一日中歩いた二人の弟子も、ペトロさえも復活されたイエス様に気づくことができませんでした。それはイエス様の御声と御顔そして御姿が変わったからでしょう。このように復活というのは私たちが予想する以上の変化、この世で一度も味わったことのない喜びではないかと思えます。人間が失ってしまった命の木へ、永遠の命に再び導いてくださるイエス様に感謝しながら今年の復活祭には皆さんと共に心からイエス様の復活をお祝いしたいと思えます。「皆さん、主のご復活をおめでとーございます」



(116)

だと思「私は復活しない方がよいではないか」と

アも、イエス様と共にエマ

かわいいよね。」とメッセージを送ってきた子がいました。：ゾワゾワしました。

：まあ、色恋沙汰のひとつくらいあっても、いいか。(青年活動企画室 益田)



→3月の福音ひろば(オンライン会議)の様子



暖かい日差しの中にたくさんのお恵み。うれしいな！コロナ規制も緩和され広島で外国の方を見かける機会も増えた。5月には、いよいよG7サミット。広島が世界中で平和を考える機会となりますように。かぴ